

FIVE VALUE ASSET

Monthly Newsletter

5バリュー通信 Vol.5

Date of issue: 2025.3.17

平素よりお世話になっております。5バリューアセットでございます。今月もマンスリーレターとして5バリュー通信をお届けいたします。マーケットニュースのご案内の他に、時事に関するコラムなどを月に1回お届けいたします。お楽しみいただけますと幸いです。

Interview メンバーの言葉



チーフ・マーケティング&
プロダクトオフィサー

鐘ヶ江 伸

2月14日に開催された第7回5バリューアセット・オフサイトセミナーでは森田洋之先生（南日本ヘルスリサーチラボ代表、ひらやまのクリニック院長）を講師にお招きし「きずな貯金」をテーマにお話を聞くことができました。

「きずな貯金」とは「地域社会の繋がりの強さ」、地域ぐるみで患者と向き合い、本人の意思を尊重し助け合って生きていくという事でした。鼻には酸素の管が入り、点滴だけで生かされているような患者が、本人の意思で退院し、その地域のまわりの人々と助け合って生活をしていると全く別人のように生き生きしてくる姿を見て、はっとしたというか、正直、驚かされました。現実問題として自分がこのような状況に置かれた場合、なかなか出来るものではないなとも思いましたが、ウエルスマネジメントに携わっている身として、お客様との信頼関係をいかに築いていくかを考えた場合、「きずな貯金」が大切なのだと思います。

我々は債券を中心に置きウエルスマネジメント業務を行っています。債券は英語でBONDとも言いますが、BONDには「きずな」という意味もあります。お客様の信頼を得るには時間がかかりますが、債券投資を通じて長期間お付き合いいただくことで信頼を得られるものだと考えています。これからも「きずな貯金」を頭において行動していきたいと思っています。

Topics 今月のトピックス



- 第7回オフサイトセミナーレポート
- 「相対取引」とは何ぞや?
- 東京駅周辺と丸の内エリア

Seminar Report 第7回オフサイトセミナーレポート



2025年2月14日に森洋之先生(南日本ヘルスリサーチラボ代表、ひらやまのクリニック院長)をお招きし、第7回オフサイトセミナーを開催しました。演題は森田先生の著作や雑誌連載で登場する「きずな貯金」という用語をテーマの中心に据えた『『きずな貯金』と信頼の本質』です。

「きずな貯金」は「ソーシャル・キャピタル」を森田先生が独自の用語として訳したもので、場所やコミュニティに定住することで貯まっていく信頼関係や、人とのつながりを指します。また、「きずな貯金」は、学術用語である「ソーシャル・キャピタル」およびその通例的な訳語である「社会関係資本」よりも、イメージのしやすい温かみのある言葉として響くようにも感じます。

森田先生は終末期の迫った高齢者に対する過剰な治療・延命処置や、先進諸国と比較しても突出した、英米の5倍にもなる人口あたりの病床数を誇る日本の医療構造に対して懐疑的な立場をとり、病院ではなく在宅・地域での介護や見守り・お看取りの重要性を指摘されるなど、ターミナルケア(終末期ケア)に近い実践を展開されており、今回は医療や介護の現場における「きずな貯金」を中心にお話しいただきました。

前半では森田先生が「きずな貯金」を見出した際のお話や、財政破綻・医療崩壊後の夕張市に生じた変化、森田先生が現在クリニックを構える鹿児島県南九州市川辺(かわなべ)町での診療経験に基づくお話を聞かせていただきました。後半では、森田先生がこれまでの著作で取り上げられてきた高齢者の医療問題や、在宅介護の重要性、当人の意志を尊重することが肉体的・精神的・社会的健康に繋がることや、人の輪/きずなの中で亡くなるのが幸せな終末であるといったお話を、夕張・川辺での複数の事例紹介と絡めながらお聞かせいただきました。

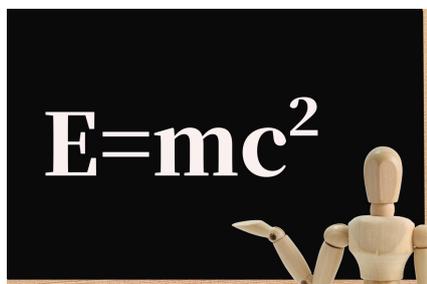
特に独居の高齢者の見守りや在宅医療においては、「きずな貯金」によるご近所同士の繋がりや信頼関係が寛容性や利他の精神(定期的かつ自発的にお年寄りの様子を見に行くなど)を支えており、そういった人の輪の中であれば、入院療養ではなく在宅医療で幸せで暖かな終末を迎えることが可能とのお話でした。

森田先生の著作などでは主に地方の地域コミュニティや介護・ケアなどの文脈で、「きずな貯金」や人のつながりや信頼関係がもたらすポジティブな効果が論じられていますが、それ以外の領域においても「きずな貯金」という視点や考えは柔軟に援用できると思われます。とりわけ、組織運営やグループワーク、ビジネス(特にウエルスマネジメント)においても、人間関係の構築・維持・強化を考えるための観点としても活用できるでしょう。

お話の中では、様々な潜在性が開花する契機(森田先生の言葉をお借りすれば「きずなを上手く醸成できると、すごいものが生まれてくる)」になるということが印象に残っており、「きずな貯金」という観点から身の回りの関係性について、改めて考えてみたいと感じさせられました。

Over the Counter? 「相対取引」とは何ぞや?

皆さまは相対取引という語をご存じでしょうか? 「あいたい」取引と読みます。アインシュタインで有名な相対性理論は「そうたい」ですが、辞書によると「あいたい」は「当事者同士が差し向かいで事を成すこと。合意すること。」、「そうたい」は「向かい合うこと。向き合っていること。また、対立すること。」だそうです。何やら同じ意なのか否なのかよく解りませんが、相対取引とは「お互いが合意の上で行う取引の事」と読み取っていただけたらと思います。



さて、金融商品の取引市場には大きく分けて2種類あります。1つは証券取引所を介して売買を集中管理する取引所市場です。株式の売買はこちらが中心です。他方、投資家の売買注文を証券会社等が自ら売買の相手方になって行うのが店頭市場です。英語のOver the Counterを略してOTC市場とも言われます。弊社が運用の中心にと考えている債券の売買、外国為替取引は店頭市場が中心です。この店頭市場で行われている取引形態を相対取引（あいたいとひき）と呼んでいるのです。

では、なぜ債券は取引所では取引されず（厳密には取引所取引も僅かながらありますが）、相対取引なのでしょう?

相対取引のデメリットとして、同時期の同一銘柄の価格が取扱い証券会社等によって異なる可能性がある等、価格形成の透明性が取引所取引に比べて低いという説明を見かけます。確かにこのデジタルな世において、人の手を介する手法はいささか前時代的な印象を持たれるかも知れません。但し、これには大きな理由があります。それは債券の方が株式に比べて銘柄数が圧倒的に多いからなのです。株式市場に上場していない債券発行体も多数存在し、且つそれぞれが多様な年限・種類の債券を発行しています。

例えば、代表的なメガバンクであるMUFGは日本取引所で取引される株式は1銘柄だけです。海外上場（預託証券）で値が付いるものを合せても10銘柄程度です。それに比して債券は458銘柄もあります。1発行体でこれですから、全ての債券を取引所で集中管理するのは非現実的と言えましょう。仮に全てを電子取引として取引所で管理したとしても、おそらくその大半は値が付かないといった事態となることが容易に想像されます。従って証券会社等が持てる範囲で在庫を持ち、投資家の注文を直接受け、価格形成をしっかりと行うといった相対取引が主流となるのです。それだけに、債券業務に携わる者には高い専門性が求められます。適切な在庫管理と価格形成が為されなければ、投資家からの信頼を得られないからです。

弊社においては、グローバルマーケット全体を俯瞰して市場動向や発行体情報等を日々収集・分析し、また特定の証券会社等に偏らず複数の業者からの価格情報の取得と比較も行いながら、お客さまにとって適正な価格を導き出し、ご提供できるよう体制を整えております。これこそが、特定の金融グループに属さない独立した私共、金融商品仲介業者の大きな強みの1つと言えるでしょう。どうかご安心して弊社がご案内する「相対取引」にご参加いただければ幸甚に存じます。

Marunouchi area 東京駅周辺と丸の内エリア



弊社の東京オフィスがある丸の内永楽ビルディングから徒歩5分ほどで東京駅に着きます。東京駅といえば、特徴的な塔屋や屋根(クイーン・アン方式)で知られるの丸の内駅舎を思い出す方も多いと思います。一方、新幹線改札や高速バス乗り場のある八重洲口では駅前の一丁目東A・B地区で高層ビルが、日本橋口の周辺(常盤橋街区)では、390mの高さとなるトーチタワーの建設が進むなど、これまでの遅れを取り戻すかのような勢いで急ピッチの開発が進行中です。一方の丸の内側は日比谷通り沿いで複数の工事が行われる程度で、八重洲側に比べるとゆるやかな雰囲気があります。

2025年現在では東京駅周辺の見所は丸の内側に集中しており、屋上庭園から丸の内駅舎を一望できるKITTE(東京中央郵便局)、丸の内ビルディング(丸ビル)、オアゾ、ブリックスクエアなどの商業施設や、重要文化財の明治生命館(写真左)や日本初の近代建築である三菱一号館を復元した、三菱一号美術館(写真右)など、歴史的建造物も多く点在しています。



2017~18年頃からフォトウェディングの名所として広く知れ渡った行幸通りでは、丸の内駅舎を背景にしたウェディング撮影(駅舎がライトアップされる夕方~日没が特に人気です)がほぼ毎日のように行われており、最近では平日の日中帯でも撮影をみかけることが多くなりました。

駅舎を背景にするフォトスポットは最大3組程度で手狭になってしまうので、週末などは撮影の順番待ちが発生するほどの賑わいをみせ、東京駅周辺の新たな名物として定着しつつあります。



5Value Asset Co., Ltd.



5バリューアセット株式会社 金融商品仲介業者 近畿財務局長(金仲)第437号

各商品等にご投資いただく際には商品毎に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。又、各商品等には価格の変動等による損失を生じる恐れがあります。各商品等へのご投資にかかる手数料等およびリスクについては、当該商品等の契約締結前交付書面、目論見書、お客様向け資料等をよくお読みになり内容について十分にご理解ください。

この通信は、当社ホームページに掲載するほか、当社セミナーにご参加いただいた方、業務提携をいただいた方、およびIFA口座をお申し込みいただいた方に送付しております。送付の停止・送付先変更をご希望の場合は、大変お手数ですが下記のメールにご連絡ください。送付の停止・送付先変更には、少々お時間をいただく場合がございます。

発信者：5バリューアセット株式会社 クライアント・リレーション

〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-4-1 丸の内永楽ビル20F

newsletter@5valueasset.com